

## 人間総合科学研究群障害科学学位プログラム 専門科目 出題意図

### 【求める人材像と教育のねらい】

障害科学学位プログラムでは、障害に関わる教育・福祉・行政・国際協力などの分野において、研究者や高度専門職として国内外でリーダーシップを発揮できる人材を求めています。

博士前期課程は、その第一段階です。障害科学の基礎的・実践的な知識・技能を習得し、障害の本質を探究する「研究基礎力」を培うためのカリキュラムを編成しています。修了後は、博士後期課程への進学をはじめ、高等教育・研究機関、特別支援教育や療育・福祉の現場、一般企業のダイバーシティ推進や障害者雇用を牽引する専門スタッフなど、多様なフィールドで専門性を発揮することが期待されます。

### 【試験の目的】

本学位プログラムは、他分野からの志望者、社会人、留学生など多様な背景を持つ学生が集まります。一方で、入学後の講義や研究指導は「障害科学の基礎知識」を有していることを前提に進められます。

したがって、専門科目試験では、以下の能力を測ることを目的としています。

#### 1. 基礎的知識理解度

障害科学分野の重要用語を、具体的かつ適切に説明できるか。

#### 2. 研究への適正

専門知識を土台として、課題を的確に捉え、論理的に解決しようとする思考力を有しているか。

以上の観点から、試験問題においては、障害科学の各分野において不可欠となる重要な専門用語を選定して出題しています。